

国土交通大臣登録講習（登録 No.24）

登録 保温保冷 基幹技能者

登録保温保冷基幹技能者講習修了証



修了証番号 第00-000-000号
氏 名 保 温 太 郎
生 年 月 日 昭 和 35 年 7 月 16 日
実務経験を有する建設業の種類： 熱絶縁工事業
この者は、建設業法施行規則第18条の3第2項第2号の
登録基幹技能者講習を修了した者であることを証します。

修了年月日 平成 22 年 2 月 25 日
有効期限 平成 27 年 2 月 24 日
一般社団法人日本保温保冷工業協会
(登録番号 第24番)

保温保冷

基幹技能者

一般社団法人 日本保温保冷工業協会

新しい技能者像 「登録保温保冷基幹技能者」

生産性の向上、建設コスト縮減といった近年の建設産業の課題に応えるためには、「仕事の段取り、とりまとめ」といった作業管理の分野が重要です。

特に、現場での施工の実情に精通し、現場における作業管理・調整能力を有することにより、

- ・実態に応じた施工方法を技術者に提案し、他業種との調整を行う
- ・一般の技能者に対しては適切な指揮・統率を行う

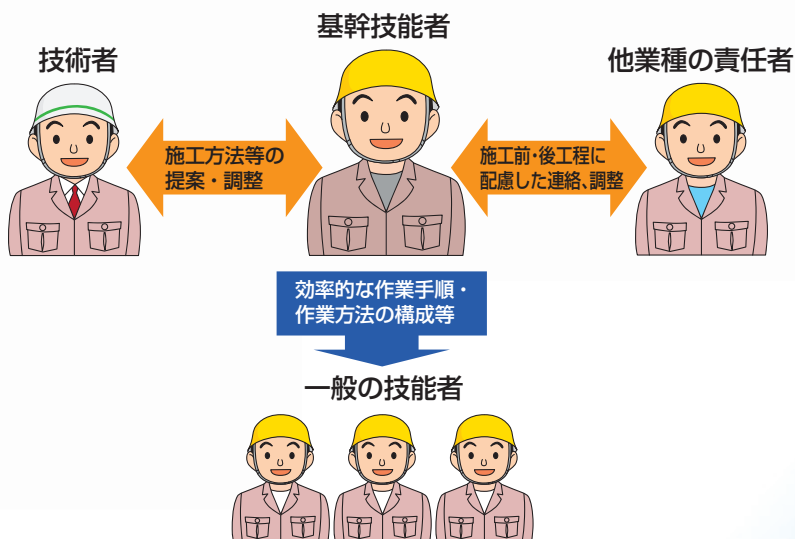
このような役割を担う「基幹技能者」の確保・育成・活用が必要とされております。



1

登録保温保冷基幹技能者の役割

- ① 現場の状況に応じた、施工方法等の提案・調整
- ② 効率的な作業手順・作業方法の構成等
- ③ 保温保冷工事全般の作業管理・指示・指導
- ④ 前工程・後工程に配慮した他業種の基幹技能者（職長等）との連絡・調整
- ⑤ 施工管理（品質・安全・工程管理等）
- ⑥ 保温保冷技能者の適正配置による効率化と統率
- ⑦ 本社・現場代理人との連絡・調整

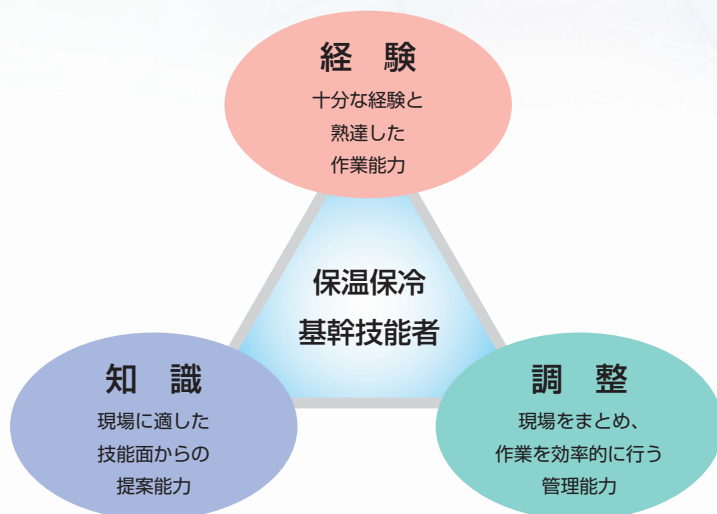


登録保温保冷基幹技能者が工事現場で果たす役割は、技術者との意思疎通を通じて、施工方法等の提案・調整を行い、実際の施工に当たって、グループ内の技能者の取りまとめ役として適切な作業管理を行わなければなりません。

登録保温保冷基幹技能者は現場における中核的役割を担う立場にあります。

2

登録保温保冷基幹技能者に求められる能力



十分な経験と熟達した作業能力

- 技能者を指揮・監督できる十分な作業能力
- 出来上がりをイメージした点検および作業の是正ができる
- 未熟技能者をレベルアップさせる OJT を行う能力

技術の進展に合わせた知識とそれを活用・提案できる能力

- 技術者の示す施工計画等から現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫等の提案能力

現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力

- 技術者や関係する他の職長との調整能力
- 技術者に対する指導・統率力

3 登録保温保冷基幹技能者の主な仕事

登録保温保冷基幹技能者は保温保冷工事の施工計画（施工方法・仮設・工程・品質管理・労務資材管理・積算原価管理・安全衛生管理・環境保全）に対し、現場の状況に応じた改善提案・調整を行う。

また、他の専門工事業者または保温保冷工事業者との作業連絡・調整および技術者への報告を行う。

1 工程管理

- 計画と実施工程の進捗状況の把握・報告および、適正な人員配置。
- 他業種との工程調整。

2 品質管理

- 仕様書・施工図面・施工要領書等に基づく、作業員への指示・指導。
- 品質標準に基づく点検および改善指導。

3 労務・資材管理

- 作業員の作業能率・技能・資格免許の把握および、作業効率を考慮した適性配置。
- 作業内容・工程による資材の発注・搬入調整および在庫管理

4 原価管理

- 実行予算（工数・資材・経費）と進捗実績との比較検討・改善および報告。
- VE の提案によるコストダウン・作業効率の改善。

5 安全衛生管理

- 安全作業手順の構成および、安全施工サイクルの実施。
- 他の専門工事業者および下請・再下請業者間相互の連絡調整。

4 登録保温保冷基幹技能者に期待するもの

低コスト化と環境負荷低減を満たしつつ、より有効な保温保冷工事が望まれる現在、登録保温保冷基幹技能者の起用は、施工効率の向上・VE・品質確保・災害事故防止に大いに効果を発揮するものと期待されます。

具体的には、次の効果が挙げられます。

- ① 職種が錯綜するなか、基幹技能者が諸々の調整を図ることで、作業効率の向上が期待できる。
- ② リスクアセスメント活動を推進し、現場の安全衛生意識の向上が期待できる。
- ③ 基幹技能者と技術者と接触機会が多くなり、それぞれの職域作業の効率化が期待できる。
- ④ 施工に関する様々な工夫や異常事態への対応にも、的確、迅速な対応が期待できる。
- ⑤ OJT技法を使って若手労働者に対し「技能、技術」の伝承を効率的に指導し、優秀な技能者育成への貢献が期待できる。



5 登録保温保冷基幹技能者講習について

登録保温保冷基幹技能者の資格を取得するためには、登録講習を受講することが必要です。

(1) 受講資格

受講者は、次の2つの要件を全て満たしていることが必要です。

- 熱絶縁工事における保温保冷施工の経験が10年以上で、そのうち職長としての実務経験が3年以上であること。
- 1級熱絶縁施工技能士（保温保冷工事業）の資格を有すること。

(2) 講習の概要と修了証

- 講習期間：3日間 3日目の講習終了後に試験を実施します。
- 講習開催：年2～3回 全国各地で開催されます。（定員50～60名）
- 修了証：3日間の講義を受講し、試験に合格した者には、一般社団法人日本保温保冷工業協会より、「登録保温保冷基幹技能者講習修了証」が発行されます。

(3) 登録保温保冷基幹技能者育成計画

一般社団法人日本保温保冷工業協会は、平成21年11月に講習機関として国土交通大臣に登録されました。今後の育成計画として、長期的には登録保温保冷基幹技能者1,500名の確保を目標としています。



一般社団法人 日本保温保冷工業協会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-10-7 信成ビル3階

TEL 03(3865)0785 FAX 03(3865)0787

URL <http://www.itia.org/>

北海道保温保冷工業協会

TEL 011(751)7188 FAX 011(751)7188

東北保温保冷工業協会

TEL 022(222)7270 FAX 022(262)6618

関東甲信越保温保冷工業協会

TEL 03(3865)0785 FAX 03(3865)0787

東海北陸保温保冷工業協会

TEL 052(409)7728 FAX 052(409)7728

近畿保温保冷工業協会

TEL 06(6441)2281 FAX 06(6446)6584

中国四国保温保冷工業協会

TEL 082(221)1228 FAX 082(221)1228

九州保温保冷工業協会

TEL 092(672)1661 FAX 092(672)0785